

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会 2020 年度第 1 回理事会 議事録

日 時：2020 年 6 月 19 日（金） 12:30～14:10

場 所：千里ライフサイエンスセンターおよび web 開催

出席者： 理事長 富田 尚裕
副理事長 田村 和朗 石田 秀行
理 事 青木 大輔 (web) 赤木 究 石川 秀樹 大住 省三 (web)
川崎 優子 (web) 鈴木 眞一 (web) 田中屋宏爾 (web) 玉木 康博
田村智英子 (web) 三木 義男 (web)
監 事 武田 祐子 (web) 松原 長秀

司法書士 寺本 俊孝

事務局：飛松

・会場および web に全理事・監事が出席し、本理事会が成立することが確認された。

議 事：

【報告・審議事項】

1. 事務局報告

事務局から、庶務報告、新入会者リスト（2020 年 6 月 5 日現在）について資料提示・説明があった。2019 年度までの会費未納者には督促したことが報告された。2020 年度分の会費請求は今後発送の予定である。

2. 各種委員会報告・審議

① 総務委員会

総務委員長・石田理事から、総務委員会単独として報告はなく、「その他：定款細則改定案について」で審議する事案がある旨、報告された。

② 財務委員会

財務委員長・青木理事から、2019 年度一般会計、特別会計のそれぞれ財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書、さらに 2020 年度補正予算案については、5 月 21 日発信の緊急メール理事会で承認されたことが報告された。

松原監事から、会計監査について、帳簿、諸書類を照合の結果、相違ないことが確認されたことが報告された。

③ 将来検討委員会

将来検討委員会委員長・富田理事長から、特に報告事項はないが、新理事体制がスタートするので、これまでの方針を踏まえ、さらに発展させていってほしいとの意見が述べられた。

④ 会則委員会

会則委員会委員長・鈴木理事から、「その他：定款細則改定案について」において審議する事案がある旨、報告された。

⑤ 専門医・HTC/FTC 制度委員会

●専門医制度小委員会

*報告事項

専門医・専門医・HTC/FTC 制度委員会委員長・田中屋理事から、以下のように報告された。

暫定指導医、研修施設について、3 年後に経過措置が終了すると、専門医申請数が減少するのではないかと考えられるため、現在、指導医、研修施設をより強化するよう努力している。その結果、現在では、指導医：68 名、研修施設：36 施設となっている。

第 4 回遺伝性腫瘍専門医認定試験申請は、8 月を予定しているが、COVID-19 の感染状況をみながら、延期、中止を検討する。

遺伝性腫瘍専門医から臨床遺伝専門医へ 2 段階で到達できるキャリアパスを検討中である。-

専門医制度の広告について

現在広告基準を満たしていない。この点に関する方策について意見交換があった。

*** 審議事項**

専門医・専門医・HTC/FTC 制度委員会委員長・田中屋理事から、経過措置としての申請資格(4) , および細則第4条(4)「遺伝性腫瘍に関連した論文」の定義について、次の通りに追記することが提案され、承認された。

遺伝性腫瘍に関連した論文は、「総説」、「原著論文」、「症例報告」、「書籍の分担執筆」などを含み、掲載誌は、原則として「PubMed」、「医学中央雑誌」、「J-STAGE」で検索可能なもので、かつ、制度小委員会の審査によって適当であると認められたものとする。

●HTC/FTC 小委員会

HTC/FTC 制度小委員会委員長・川崎理事から、以下の報告があった。-

HTCについては、第1回認定者：11名、移行措置認定者18名である。

FTCは新規申請者なし。

第2回HTC試験は、2021年2月に延期、大阪で実施の予定である。

1年延長する救済策をとる。

COVID-19の影響に伴う救済措置は、以下4点である。

① 第2回HTC試験は：2021年2月に延期、大阪で実施の予定である。

② 経過措置、移行措置期間：1年延長する。

③ ロールプレイ：第22回、第23回遺伝性腫瘍セミナーの開催形態が変わり、ロールプレイに参加せず受講証を得る申請者が出てくるが、これは、今年度のみ申請可とする（申請にはセミナー参加2回が必要であるが、そのうち1回は必ずロールプレイに参加することを条件とする）。

④ 証明書の発行：第23回遺伝性腫瘍セミナーの開催が11月～1月の予定のため、2021年2月の試験申請には受講証が間に合わないの、受講予定者となっていることの証明書を発行し、それをもって受け付けることとする。

⑥ 遺伝性腫瘍セミナー委員会

遺伝性腫瘍セミナー委員会委員長・田村和朗理事から、以下の報告があった。

第22回前期遺伝性腫瘍セミナー参加者：217名、同後期セミナーはcovid-19の影響により延期。

第1回遺伝性腫瘍アドバンストセミナー参加者：135名。

第22回後期遺伝性腫瘍セミナー（本年3月開催予定で延期されたセミナー）はe-learning形式で本年9月に開催予定である。

第23回遺伝性腫瘍セミナーについては、e-learningとWebinarのハイブリッド形式で行い、11月～来年1月頃に開催予定。ロールプレイもミーティング形式のオンラインシステムを使って開催予定（90人程度）である。

第2回アドバンストセミナーについては、まだ計画されていない。

⑦ 編集委員会

*** 報告事項**

編集委員会担当・石田理事から、以下の報告があった。

投稿数は20編を超え、順調である。

20巻1号からバリエーションレポートを掲載する。

20巻2号の掲載予定論文について、本学会ホームページにおいてパブリックコメントを募集し、間もなく成案をみる予定の3診療ガイドライン（「小児・成人のための若年性ポリポーシス症候群診療ガイドライン（2020年版）」、「小児・成人のためのPeutz-Jeghers症候群診療ガイドライン（2020年版）」、「小児・成人のためのCowden症候群/PTEN過誤腫症候群診療ガイドライン（2020年版）」）を審査後に掲載する予定である。

*** 審議事項**

・「遺伝性腫瘍（家族性腫瘍）」の年間刊行回数について

編集委員会担当・石田理事から、本年はすでに投稿数が20編を超え、また、学術集会の演題からの投稿も見込まれることから、今年度は3号、来年度から4号の刊行を目指したい旨が提案され、承認された。

⑧ 学術・教育委員会

学術・教育委員会担当・三木理事から、同委員会担当理事が交代するので、新体制のもと課題を検討し、理事会に報告、提出する旨が報告された。

⑨ 倫理審査委員会

倫理審査委員会委員長・川崎理事から、1件の審査が行われたことが報告された。

⑩ ガイドライン委員会

⑪ 利益相反 (COI) 委員会

ガイドライン委員会委員長、利益相反 (COI) 委員会委員長・大住理事から、特に報告事項はない、とのことであった。

⑫ 国際委員会

国際委員会委員長・赤木理事から、InSiGHT Asia が COVID-19 のため中止され、再開のめどが立っていない状況であることが報告された。

⑬ 遺伝カウンセリング委員会 (田村智英子理事)

遺伝カウンセリング委員会委員長・田村智英子理事から、特に報告事項なし、とのことであった。

⑭ 広報委員会 (玉木理事)

* 審議事項

・学会著作物使用に関する取り決めについて

広報委員会委員長・玉木理事から、本学会ホームページ掲載の「免疫チェックポイント阻害薬適応判定のためのマイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査 (説明文書・同意書)」を、転載利用したいとの申し出が企業からあった。従来、転載利用に関する規定がなかったため、規定案等を作成したので、理事会において検討したい旨提案があり、規定案の説明があった。

提示された規定案、他学会の状況 (主に利用料金) について検討したが、より詳細に検討するべきとの結論に達し、次期広報委員会および理事会での継続審議とした。

なお、今回申請があった転載利用については、提示された規定案をもとに料金計算、請求し、申請許可する方向性が承認された。

⑮ ゲノムデータベース委員会

* 審議事項

・ゲノムデータベース委員会の名称変更について

ゲノムデータベース委員会委員長・赤木理事から、同委員会の名称変更について、がんゲノム医療に関わるデータやデータベースの活用を主軸に活動していくため「がんゲノム・データベース委員会」と名称変更したいとの提案があった。提案どおり名称変更することが承認された。

同委員会と連携している AMED 溝上班は、今年度をもって終了するが、本学会理事長が分担研究者となるところから、7 月からは新理事長に交代し、赤木理事、田中屋理事も引き続き参加することが報告された。

⑯ 作業部会委員会

作業部会委員会委員長、石川理事から、昨年度中に、新部会設置応募はなかったことが報告された。ー消化管ポリポーシス3疾患のガイドラインが完成したことが報告され、協力への謝意が述べられた。

⑰ LFS 部会 (田村智英子理事)

田村智英子理事から、LFS ガイドライン、患者さん・ご家族向け説明書が完成したので、ホームページなどで常にこれらが見られる状態を構築していきたいとの報告があった。

田村和朗理事から、LFS 部会でまとめたデータを英文発表するよう準備中であるが、組織名は「Special Committee on Li-Fraumeni Syndrome in The Japanese Society for Hereditary Tumors (JSHT)」でよいか確認され、了承された。

⑱ 遺伝性腫瘍研究グループ連絡協議会

遺伝性腫瘍研究グループ連絡協議会事務局担当・石川理事から、HBOC の発癌者に対しては、予防的乳房・卵巣切除や、遺伝カウンセリング、遺伝子検査などが保険診療として認められたとの報告があった。

追加して、富田理事長から、石川理事には事務局をお願いしているが、本協議会の代表者は本学会理事長であるので、今回の理事長交代に伴い代表を交代することを、構成メンバーに了承を得る必要があることが報告された。

3. 理事・理事長選挙結果

① 理事選挙結果

理事選挙管理委員長に代わり、総務担当石田理事から、COVID-19 の影響により、開票作業は事務局で行い、その結果を pdf にて選挙管理委員に送信し、吉村公雄理事選挙管理委員長、有賀智之、中島健同委員会委員の3名で厳正に確認するという方法にて行い、理事当選者10名が決定したことが報告された。

② 理事長選挙結果

理事長選定委員長・松原監事から、COVID-19の影響により、開票作業は事務局で行い、その作業をオンラインにて管理するという方法により行い、厳正なる開票の結果、石田秀行理事が次期新理事長候補と決定したことが報告された。

4. 学術集会関係報告

① 第26回学術集会準備報告

第26回学術集会・玉木会長から、以下のとおり報告された。

2020年8月21日～31日、web開催（ライブ中継なし）

理事長講演、会員報告会（本日の評議員会結果報告）などが含まれる。

参加証は、参加登録し、入金が確認された後に、個人専用のID、パスワードを送付し、それでwebにアクセスする方法を考えている。

最終的に演題登録まで済まされた方のみをプログラムに掲載する。

pdfをホームページに掲載予定であるが、冊子希望者には、実費にて対応の予定である。

② 第27回学術集会準備報告

第27回学術集会・赤木会長から次のとおり報告された。

日程：2021年6月18日、19日

テーマ：がんゲノム医療と遺伝医療のボーダーレス化

共同会長：向原 徹先生（国立がんセンター東病院）

COVID-19の状況が不明な中、会場とweb閲覧の同時併用で準備するよう考えている。今後の情勢をみて今後の方針を検討していきたい。

③ 第28回学術集会準備報告

第28回学術集会・田中屋会長から次のとおり報告された。

日程：2022年6月17日、18日

会場：岡山コンベンションセンター

共同会長：藤原俊義先生（岡山大学）

5. その他

① 定款細則改定案について

総務委員会担当・石田理事および鈴木理事から、追加資料に基づいて説明があり、検討の結果、以下のすべての点について承認された。

- ・会費値上げについては、評議員会の書面表決において承認されているため、改定とする

- ・評議員定年の起算日について、生年月日とするか学術集会開催日とするかで違いが出るため、「65歳に達した次年度の」とする。

- ・ゲノムデータベース委員会の名称変更による変更

- ・委員会によって、委員会規約の有無、アドバイザー、顧問などが設けられているなどばらつきがあるので、規定を整備した方が良く考えられ、理事会の承認を得ることとし、細則20条に追加することとする。

- ・第7条について、「評議員会」は「定時評議員会」に修正する。

② 人材公募の本学会ホームページ掲載について

富田理事長から、ある大学の教員募集の案内を本学会ホームページに掲載してほしい旨の依頼があり、理事長、副理事長で対応し、詳細な情報を求めたところであるが、まだ回答なく、情報が得られたら新理事会で検討してもらいたい旨、報告、説明があり、了承された。

③ 第29回学術集会の会長候補者について

富田理事長から、本理事会において、第29回学術集会会長候補者の推薦がないか、確認された。地域、専門分野、学会への貢献などを勘案し、5名の候補者があげられた。これを参考に新理事会で検討することとなった。

④ 日本癌学会学術集会シンポジウム講演者推薦について

富田理事長から、日本癌学会から、同会第79学術総会シンポジウム「ゲノム医療における人材育成」の演者推薦依頼があり、がんゲノム時代の人材育成の立場から演者とのこと、本企画者の吉田輝彦先生からのご推薦も考慮し、本学会HTC/FTC制度担当の川崎理事を推薦したことが報告された。ただし、田中屋理事とも相談の上HTC/FTCだけでなく、本学会の遺伝性腫瘍専門医制度のことも含めた講演内容を考慮していただくこととした。

⑤ 次回理事会日程について

新理事会にて検討することとした。

閉会にあたり、富田理事長、田村副理事長、玉木理事、三木理事、松原監事から退任の挨拶があった。

以上